

回 答 書

工事名称： 門司港地域複合公共施設新築工事

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
		(現場説明書他)	
1	現場説明書	【本工事で特に注意する点】の4.に記載の「自走式自動車車庫建設敷地範囲の埋蔵文化財包蔵地」の想定範囲を教えてくださいませんか。	埋蔵文化財包蔵地の範囲については、以下をご覧ください。 埋蔵文化財包蔵地マップ https://kitakyushu.maps.arcgis.com/apps/webappviewer/index.html?id=9365505083d14188b4a714778c8c84c3
2	現場説明書	【本工事で特に注意する点】の9.に記載の「JR所有の建築物へのJRの職員及び車両」の利用頻度・車両の大きさ(台数)を御教授下さい。	一般車両(社用車及び通勤用)が一日に20台程度出入りします。(回数や時間は不定期) 大型車は月1回程度通行します。 徒歩の職員は車両ほど多くありませんが不定期に通行します。
3	現場説明書	【安全対策・仮設】の40.に記載の遮光ネット(足場に設置するものに限る)とは、休憩場所の天井や壁を覆うものを示しているのでしょうか。具体的な品名をご指示下さい。	休憩中ではなく、作業中に有効な日陰を設けるものです。具体的な品名は指定しません。
4	現場説明書	【本工事で特に注意する点】 「1.本工事は・・・である。周辺住民や・・・施工すること。」とありますが、現在までに周辺住民との協議等を行い制約や条件等が設定されていますでしょうか。	先行工事の「とりこわし工事」及び「特殊基礎工事」は着手時にお知らせを配布し、作業時間等を示しています。 交通誘導員の配置等は仮設計画参考図(図-1032)に示しています。

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
5	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「2. 工事着手に先立ち、・・・着手すること。また、工事中においても、関係者と十分に調整を行いながら、工事を進めること。」とありますが、関係者とは【都市戦略事業推進課、平成筑豊鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、近隣】以外に調整を実施すべき関係者がごいますでしょうか。</p>	<p>事業推進課で取りまとめる予定ですが、区役所などの所管課との調整が必要です。</p> <p>外構工事で関係する九州鉄道記念館、北九州銀行門司支店、駅前広場整備の関係者との調整も必要です。</p>
6	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「3. 当該敷地内には、旧門司駅関連遺構の一部（1.5m角程度）が・・・施工を行うこと。なお、・・・必要な対策については、必要に応じて設計変更を行うため、・・・。」とありますが、遺構の場所と対策に伴う設計変更の内容がございましたらご教授ください。</p>	<p>旧門司駅関連遺構の一部（1.5m角程度）は本工事の構造体に干渉しない位置に存置しています。現時点で想定している設計変更の内容はありません。</p>
7	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「5. 自走式自動車車庫の・・・令和9年1月末頃まで使用できない可能性がある。」とございます。</p> <p>自走式自動車車庫の敷地は複合公共施設の工事ヤードとして使用する計画であり、使用できない場合は全体工程に影響がございましたらご教授願います。また、決定している軌道計測業者がございましたらご教授願います。</p>	<p>現場説明書に示している期間を超えて使用できない期間が生じる場合は協議を行います。</p>
8	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「8. 前項に記載する鉄道近接工事による門司港レトロ観光線の軌道への影響を確認するため、軌道計測を別途発注の業務委託で予定している。そのため、計測のタイミングに配慮し、軌道計測業者と工程を調整したうえで、工事を進めること。」とありますが、軌道影響の基準値がございましたらご教授願います。また、決定している軌道計測業者がございましたらご教授願います。</p>	<p>本工事で軌道計測が必要なる施工は、近接工事に該当する範囲（軌道中心から8mの範囲）鋼矢板打設・掘削時です。</p> <p>トラックスケールでの計測を行い、許容変位は1cm未満です。</p> <p>軌道計測業者については、平成筑豊鉄道株式会社と協議中です。</p>
9	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「11. 別工事の特殊基礎工事（工期末：令和7年10月23日予定）と工期が重なっているため、・・・施工状況等の引継ぎを受けること。」とありますが、現状における施工計画の提示をお願いします。</p>	<p>特殊基礎工事の現時点の計画工程表では、9月末までに深層柱状地盤改良の施工を終える予定です。</p>
10	現場説明書	<p>【本工事で特に注意する点】</p> <p>「13. 複合公共施設棟建設敷地の仮囲いについては、先行工事（既存構造物とりこわし工事及び特殊基礎工事）で使用したものを継続使用とする。」とありますが、先行工事における仮囲いは本工事以降は盛替、撤去、リース料は本工事にて負担すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>仮囲い及びパネルキャスターゲートはリースではなく新品を設置しており、市の所有となります。本工事で盛替え撤去を行い、処分は有価物としての処分となります。</p>

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
11	現場説明書	【注意事項（施工にあたり）】 「36. 周辺の家屋、道路、側溝、擁壁等及び仮囲い内外の既存施設を汚損しないように十分に注意し、万一汚損した場合は、監督員へ報告し、指示を受けて復旧すること。」とありますが、家屋調査を実施する範囲等がございましたらご提示願います。	家屋調査の実施は予定していません。
12	図-1021	着工時の敷地内レベルは敷地現況図の記載レベルでしょうか。 異なる場合は着工時のレベルを御教授下さい。 資料がない場合は、着工後の協議・精算と考えて宜しいでしょうか。	敷地現況図の記載レベルは、埋蔵文化財調査、とりこわし工事、特殊基礎工事等の施工前のレベルです。 複合公共施設棟の本工事施工時のレベルは、記載レベルより下がっていますが、積算は前述の工事等を反映した土量としています。 自走式自動車車庫建設敷地の本工事施工時のレベルは記載レベルとほぼ同じです。
13	図-1032 ～1038	仮設計画、仮設構台、揚重機参考図はあくまでも参考図であり、当社の施工計画に基づき金額を算出し入札して宜しいでしょうか。またその場合、参考図からの変更による請負金額の増減は無いとの認識でよろしいでしょうか。	予定価格は参考図を基に算出しています。なお、貴社作成の施工計画で承諾されれば、それに基づき施工して問題ありません。金額変更を行わないことを基本としますが、協議によります。
14	図-1032	仮設計画参考図の凡例に仮囲いおよびパネルゲートに（既設）竣工後撤去と記載がありますが、撤去は処分と考えて宜しいでしょうか。	質問番号10の回答に同じです。
15	図-1036	揚重機参考図3において、図面上部に設置した構台上的クレーンの建方方向①から考慮すると、歩道上の花壇を撤去しないと搬出入が困難であると考えます。歩道所の花壇は撤去・復旧するものとして考えてよろしいでしょうか。	パネルゲート前の花壇については、とりこわし工事で撤去済です。仮設計画参考図（図-1032）を参照して下さい。
16	図-1702 図-1904	今回計画されている立体駐車場は既存のロータリーに出入口を新設する計画となっています（歩道切り下げ工事は別途工事）。弊社検討の計画により工事に歩道の切り下げを行い搬出入に利用することは可能と考えてよろしいでしょうか。	駅前広場については、別途、全体的にリニューアル工事をを行います。工事時期は、令和8から9年度の予定です。貴社による切り下げの施工はリニューアル工事との協議になります。
17	—	隣接する門司港電話交換所駐車場の使用頻度をご教授ください。	門司港電話交換所前の月極駐車場は6台が使用します。（回数や時間は不定期）建物への人の通路も確保する必要があります。月極利用者の人の通行もあります。 また、電話交換所でトラブルが発生したときに業者の出入り（作業員及び車）があります。

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
18	—	近接するJR様との事前協議はすでに完了しているものとして考えてよろしいでしょうか。	事前協議（近接協議）は完了しています。足場の設置計画等により詳細の打合せが必要です。覚書の交換も必要です。
19	—	今回の計画建物は計画地いっばいに計画されており、仮設事務所等を設置する余裕がないと考えます。敷地外にご提供いただけるヤード等がございましたらご教授願います。	敷地外に提供できるヤードはありません。敷地外でヤードが必要となる場合は、自ら確保していただく必要があります。
20	図-1001 図-1951～ 1953	建設発生土の処理で場外処理が鉋さい処理先 梅光産業(株) 喜多久場の指定がありますが、鉋さいは撤去図に記載の舗装の路盤材のみを対象と考えて宜しいでしょうか。	舗装路盤に鉋さいが使用されていることを確認しています。他の箇所を使用している場合、舗装路盤で使用されていない箇所があった場合は、設計変更の協議を行います。
		(内部)	
21	図-1102 図-1212	1Fコミ庫1の天井仕上に於いて、階段3詳細図B-B'断面、D-D'断面に天井GB-Rt12.5+12.5 素地とありますが、仕上表より直天考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	直天としてください。
		(外構)	
22	図-1701 図-1705 図-1706-2	外構計画図の凡例ではインターロッキング舗装(歩道用)Z2、インターロッキング舗装(車道用)Z32とありますが、外構詳細図ではZ2インターロッキングブロック透水性舗装(車両乗入れ部)、Z32インターロッキングブロック透水性舗装(歩道部)です。外構詳細図の符号が誤記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	外構詳細図が正です。外構計画図の凡例の記載が誤記です。
		(構造)	
23	図AS071/102	鉄骨柱ジョイント位置の記載がございます。工期短縮する為に一案として柱ジョイント位置の変更を考えておりますが、変更することは可能でしょうか。	構造計算上はジョイント位置の変更は可能です。継手の仕様を守ってください。計画通知の変更の要否について、事前に協議が必要です。また、建方精度を確保できるように仮設計画を立てて下さい。